

[プレスリリース]

2012年9月7日
富士通セミコンダクター株式会社

(本資料は、Fujitsu Semiconductor Europe GmbHが9月6日に発表したプレスリリースの抄訳です。)

先端コンバータチップと多値変復調技術による超高速データ転送を実証

～ OIF CEI-28G-VSR 伝送路で4倍のデータ転送速度を実現 ～

[ドイツ、ランゲン発、2012年9月6日] Fujitsu Semiconductor Europe (FSEU) は、OIF(注1)が規定するCEI-28G-VSR(注2)伝送路に対して、1レーンで每秒100ギガビット(Gbps)を超える速度でのデータ転送を実証しました。これは、上記仕様が規定するデータ転送の4倍の速度を実現したことになります。本実証は、40nm CMOSテクノロジーで製造した每秒65ギガサンプリング(GSps)のコンバータチップ(送信用のD/Aコンバータ、と受信用のA/Dコンバータ)および評価ボードとで構成したプラットフォームを使用して行われました。

データセンター内の電気通信配線の高速化、およびポート数の増加に伴い、ボード間、バックプレーン経由、あるいはサーバ間といった短距離のデータ通信についても、さらなる高速化が必要とされています。また光伝送ネットワークにおいても、増加するデータ通信量のため、基幹ネットワークに要求される通信速度が加速度的に高まっています。

FSEUは、CMOSコンバータチップによる多値変復調方式の信号処理を利用することで、超高速でのデータ転送を可能にしました。この効果が期待できるアプリケーションは多岐にわたり、チップ間、モジュール間を接続する数センチメートルから、データセンター内を結ぶ数百メートル、あるいは数キロメートルの接続にまで適用できます。

本実証に関連する研究成果が、9月16日から20日までオランダ、アムステルダムで開催される「European Conference on Optical Communications (ECOC) 2012」にて、中国、北京のFujitsu Research and Development Center (FRDC)ならびに株式会社富士通研究所の共同論文として発表されます。さらにFSEUは、同会議の併設展示会においてデータ転送のデモンストレーションを実施する予定です。

詳しくは、以下をご参照ください。

http://www.fujitsu.com/emea/news/pr/fseu-en_20120906-1036-fujitsu-high-speed-data-transmission.html

【注釈】

注1 OIF : Optical Internetworking Forum

光ネットワーク機器、部品全般に係わる業界標準の推進を行う団体。

注2 CEI-28G-VSR : Common Electrical Interface 28Gbps Very Short Reach

上記OIFが規定するチップ間、モジュール間など短距離の電氣的接続に関する仕様の一つ。

【関連リンク】

Fujitsu Semiconductor Europe GmbH <http://emea.fujitsu.com/semiconductor>

Fujitsu Research and Development Center <http://cn.fujitsu.com/frdc/>

株式会社富士通研究所 <http://jp.fujitsu.com/group/labs/>

【本件に関するお問い合わせ先】

富士通セミコンダクター株式会社

お問合せフォーム : <http://edevicе.fujitsu.com/jp-qform.html>

以 上

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。